

この度の東日本大震災により、犠牲になられた方がたとご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

また、被害にあわれた方がたに、謹んでお見舞い申し上げます。

BFSニュースレター

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2011年6月6日発行

Vo1. 25, 第25号

このニュースレターの主な掲載情報:

- ・ グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- ・ BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- ・ 資産運用や人生設計に役立つ情報
- ・ 知っておくと得するホットな情報

日本株のダッチロール(漂流)は極まれり!

このところの日本株の惨状は、目を覆うばかりです。海外、特に米国市場の動きを見て寄り付いた後は、1日見ないですむという状況が、毎日続いています。あるいは、1日まったく見ないで終わってしまうという日も出てきました。

出来高は数年来の最低が続き、上がり続けるいわゆるスター株は皆無の状態。「これでよく証券会社は生き続けるな。」と心配ですが、案の定、オンライン証券は軒並み減益、中小証券は青息吐息で、廃業が相次ぎ、大手も投信手数料でやっと食いつなぐ状態です。

この状況は20年続いている。

この状況は何も今に始まったことではなく、小泉政権の2.3年、2000年のハイテクバブルを除けば、20年続いているのです。1990年の日経平均30000円台から、現在は9000円台です。

これからどうなる?

これから、日本株は上がるのでしょうか。以前の活力を取り戻せるのでしょうか? 残念ながら、それは当分無理です。日本株は、大変残念ですが、構造的な面、カルチャー的な面、国家体制・人口構造的な面から、海外からの相対的地位は劣っていて、上がらない状況は、今後10年続くと見えています。この上がらない要因についてみていきます。

構造的な面

一持ち合い株の売りは続く

例: 持ち合い株の下落や取引先の売りで下げが止まらない銀行株(公募増資で購入した投資家は大変な痛手)

一一般株主を考えない公募増資

例: 株価2500円の時公募増資を発表、急落後の価格1900円で実施、その後、300円割れになった東京電力

一会社の買収防衛策にあきれて外人が寄り付かない。

カルチャー的な面

一経営者は株主利益より自己保身
一利益は株主還元より内部ため込み
例: 平常でも十分でない株主還元性向を、震災を理由に平気で下げるグローバル企業
一(本来株主利益を守る役割の)取締役は社内から

国家体制・人口構造的な面

一財政破綻による国債暴落で、ハイパーインフレ・超円安に

一2050年には人口3割減、経済成長を支える生産年齢層は4割減

一人口減で市場は縮小

一2050年には、高齢者1人を労働者1人で支える高負担の時代に

日本株が上がらないのは、企業業績や大震災の影響などの表層的な要因からではありません。このような構造的に根が深く一気に解決するのはむずかしいものばかりなのです。

どうしたら、日本市場をよく出来るか。

実は、日本の株式市場をよく出来るのは、皆さんなのです。それをどう実現できるか。日本市場から出て、株主利益を大事にしてくれる海外の株式市場にどんどん投資することです。そうすることにより「これではいけない」と日本の経営者に目覚めさせることが、最も早い対策といえるのです。それは皆さんの力で簡単に出来ます。



国をよくするのは、われわれの義務ですが、愛国心と生きていくうえで大切なお金を失うことは、区別してかからなければなりません。

Be Prepared! (そのときに備えよ)

日本の政治家の程度はいかなるものか、今回の菅首相不信任案騒動で、改めてその程度を確認しました。

「国民は、国民は」と枕詞のようにいう政治家も、自分たちの権力欲のためだけに動いているということが、よくわかりました。その場しのぎの対応策、本当の危機は見えて見ない振り、のちの世代の利益より投票してくれる人の利益を、どれだけ日本が危機にいるかわからない鈍感さなど、以前からの認識を再確認している状況です。

皆さん、政治家や官僚を当てに はいけません。彼らは皆さんを守ってくれません。政治家は、自分自身を守るために、自分自身を上上げるために、日々勤しんでいることを忘れてはいけません。

いまの政治状況から、政治が望むべき方向に動くのを期待するのは無理です。おそらく、終戦時のように、国の破局が来て、「がらがらポン」で国家体制がリストラクチャーされない限り、無理ではないでしょうか。こういう時代に皆さんがどういふスタンスで臨むべきか。これは非常に大事な選択です。私は、こう考えます。

- ・自分の考えを固めよ。
- ・日本の政治・公共福祉を当てにするな
- ・たとえ破局になっても生きれるよう対策を打つ。



のんびりした泰平の時代は終わりました。これからは、日本は存亡の時代に入っていくことでしょう。

「Be Prepared!」

今月の言葉:

・独創的な思想はほとんどいつも、歩いているときか立っているときに訪れるもので、坐っている時に訪れることはきわめて稀である。
ーリーマー



弊社から皆様への情報提供ソース:

びとうファイナンシャルサービス公式ホームページ

<http://www.bfsc.jp>

びとうファイナンシャルサービス公式ブログ

<http://ameblo.jp/bitofinancialservice/>

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!

<http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

Web サイトもご覧ください

<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)
代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20
汐留ビルディング3階

電話: 03-6721-8386
携帯: 090-4934-3121
FAX: 050-3156-1072
電子メール: info@bfsc.jp

◆I-O ウェルス・アドバイザーズ代表、インベストライフを主宰する岡本和久さんとのジョイント・セミナーを開催! ◆

少人数での開催ですので、お申込みはお早目に。

日時 : 6月23日(木)19:00~21:00

プログラム : ①「ライフプランが資産運用に果たす大切な役割」(尾藤峰男)
②「東日本大震災から、資産運用で学ぶこと」(岡本和久)

場所 : 東京都渋谷区広尾1-8-6-7F

I-Oウェルス・アドバイザーズ オフィス

<http://www.i-owa.com/company/access.html>

定員 : 10名(先着順) 参加費 : 1000円(当日)

お申込は下記まで、お名前、年齢、ご連絡先をお知らせください。

info@bfsc.jp Tel:03-6721-8386

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを
—びとうファイナンシャルサービスの大切な役割

私は、ハーフマラソンをこうやって走っています。

以前自分自身が、ハーフマラソンって、どんな感じで走るんだろうと思っていたもので、とてもそんな長い距離は走れないと内心想っていたものです。それが、ことし、4回ほどハーフマラソンを完走して、走ったあとも、午後の時間は、普段どおり仕事をしたり、読書をしたりしています。どう、ハーフマラソンを走っているか、私なりの走り方を、ここでお知らせしましょう。

まず、前日睡眠を十分に取る。

—これは、普段どおり床に入る程度で、夜更かしをして睡眠不足にならない程度です。

走る前、2時間前程度に、起床する。

—あまり遅いと、体が、目が覚めません。特に私の場合、家の近くの公園(あるいて10分)が場所なので、1時間前に起きても十分間にあってしまうのです。

食事をきっちり摂る。

—あまり食べ過ぎても、腹が窮屈(腹痛にも)になりますから、適度に食べるということです。ただ20キロ以上走りますので、十分スタミナはとっておかねばなりません。普段の朝食より、やや多い目というところでしょう。走り出す1時間半前までには済ませておくと

いでしょう。走る頃には消化されて、栄養になっていると見込んでいます。

ランニングの服装を整える。

—冬であれば、帽子、手袋、上下長めのランニングウェア。暑くなれば、日焼け止め、帽子。シューズはもちろん自分にあつたもの。(底が薄く、着地ショックを吸収しないものは避ける)ソックスは、薄手より、ショックを吸収するもの。男性でも、乳首はシャツがこすれて痛くなることがあるので、バンドエイドを貼っておいてもよいです。

ストレッチ、柔軟運動を十分に行なう。

—これが、大変重要です。これに十分時間をかけると、体がほぐれるだけでなく、精神が落ち着き、集中してくるのです。自分なりのペース配分、走り方の心がけ、今日の体調などを思いながら、ストレッチをやりますので、体にも精神にいい、ということです。

さて、今月はここまでとして、来月号で、実際に走る走り方をご紹介します。ぜひ、お楽しみに。皆さんも、きっと走れますよ。世の中、ランニングブーム。そしてお金がかからず、健康を手に入れることができるランニング。ぜひ、はじめてみませんか。

